

令和6年版
消防年報



厚木市消防本部

は じ め に

この年報は、令和5年度（一部令和5年）中における厚木市消防の概要を収録したもので、消防防災行政を広く紹介することを目的に編集しました。本書を地域防災活動の推進の参考として御活用いただき、消防行政に一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年7月

厚木市消防本部

目 次

一目統計	1
消防長あいさつ	2
消防団長あいさつ	3

【市と消防の概要】

厚木市と清川村の市勢

1 厚木市の位置及び地勢	4
2 厚木市の面積・人口・世帯数	5
3 厚木市の人口の推移	5
4 清川村の面積・人口・世帯数	6
5 清川村の人口の推移	6

消防の概要

1 常備消防のあゆみ	7
2 消防現勢（常備）	17
(1) 消防本部・署（分署）配置図	17
(2) 常備消防力の基準	18
(3) 消防庁舎概要	19
(4) 消防の機構図	20
(5) 消防職員配置状況	21
(6) 消防車両種類別内訳	22
(7) 本部・署車両配置状況	23
3 消防予算	25
(1) 消防費前年度比較	25
(2) 消防費財源内訳	25
(3) 年度別市当初予算と消防費の比較	25
(4) 消防費と人口の比較	25

【総 務】

消防職員

1 消防職員階級別勤続年数調	26
2 消防職員階級別年齢調	27

3	消防職員免許等取得状況	28
4	消防職員採用・退職状況	29
5	消防職員年度別公務災害発生状況	29
6	人事事務	30
7	衛生管理	30
8	表彰	30
9	教育・研修	31
	(1) 派遣研修	31
	(2) 現地・教養訓練	31

消防施設

1	施設整備	32
2	水利状況	33
	(1) 地区別消防水利設置状況	33
	(2) 耐震性貯水槽の設置状況	34

消防車両

1	消防車両更新状況	35
2	消防車両整備の概要	35

【火災予防】

1	火災予防運動	36
	(1) 秋季火災予防運動	36
	(2) 春季火災予防運動	36
2	防火管理者等調	37
3	消防法・火災予防条例に基づく届出等処理状況	38
4	防火対象物定期点検報告制度	38
5	幼稚園児、小学生の消防署見学の推移	39
6	雑草地の指導	40
7	初期消火協力の推進	40
8	立入検査実施状況	41
9	消防同意事務等	42
	(1) 過去10年間の同意件数	42
	(2) 月別同意件数	42
	(3) 地区別及び用途別同意件数	43
10	防火対象物状況	44
11	高層建築物の状況	46
	(1) 高層建築物数	46
	(2) 主な高層建築物	46
	(3) 地区別・中高層建築物数	47

12	消防用設備等着工・設置届出状況	47
13	危険物施設	48
	(1) 危険物	48
	(2) 危険物施設の状況	48
	(3) 過去 10 年間の危険物施設の推移	48
14	地区別危険物施設	49
15	危険物施設等立入検査状況	49
16	危険物施設の事務処理状況	50
17	少量危険物等届出状況	50
18	危険物手数料	51
	(1) 手数料納入額	51
	(2) 過去 10 年間の危険物手数料の推移	51

【警 防】

火災の概要

1	火災種別死傷者発生調	52
2	火災概況調	52
3	過去 10 年間の火災件数	53
4	主要火災原因別累年比較調	53
5	損害見積額累年比較調	54
6	全国・県・市火災発生状況調	54
7-1	月別・曜日別火災発生状況（その 1）	55
7-2	月別・曜日別火災発生状況（その 2）	56
8-1	時刻別火災発生状況（その 1）	57
8-2	時刻別火災発生状況（その 2）	58
9	月別原因別火災発生状況	59
10-1	原因別火災発生状況（その 1）	60
10-2	原因別火災発生状況（その 2）	61
11	月別用途別火災発生状況	62
12-1	地区別火災発生状況（その 1）	63
12-2	地区別火災発生状況（その 2）	64
13	曜日別累年火災発生件数調	65
14	月別火災件数の比較調	65
15	消防相互応援件数（火災）	65
16	昭和 45 年以降の主な火災	66

消防署部隊の出動・訓練概要

1	月別部隊出動状況	68
2	月別部隊訓練等状況	68

【指 令】

通信・指令の概要

1 通信業務	69
(1) 119 番受信状況	69
(2) 月別 119 番受信状況	69
(3) 119 番受信状況の推移	69
(4) NET119 緊急通報システム	70
(5) 多言語通訳	70
(6) 高機能消防指令システムを構成する装置	70
(7) その他の関連機器	71
(8) 神奈川県消防救急デジタル無線設備（共通波）	71
(9) 署活系無線	71
2 消防通信系統図	72
3 覚知別月別火災発生状況	73

気 象

1 厚木市の気象状況	74
(1) 天候	74
(2) 気温	74
(3) 相対湿度	74
(4) 風向・風速	74
2 気象通報発表状況調	75
3 累年降雨量調	76
4 月別気象別火災発生状況	77
5 風向と火災件数	77

【救 急】

救急救命

1 救急業務の高度化とメディカルコントロール体制	78
2 応急手当普及啓発活動	78

救急活動

1 救急活動の概要	79
2 救急活動累年比較調	80
3 月別救急活動調	81
4 署所別救急活動調	82
5 月別覚知別救急件数調	83

6	曜日別救急件数調	83
7	年齢別搬送人員調	84
8	傷病程度別搬送人員調	84
9	傷病程度別年齢区分別搬送人員調	85
10	救急隊員の行った応急処置件数調	85
11	一般市民の行った応急手当件数調	85
12	発生地区別救急件数調	86
13	時間別救急件数調	87
14	消防相互応援件数（救急）	87
15	救急支援出動件数	88
16	派遣型救急ワークステーション医師同乗出動件数	88
17	熱中症年齢別程度別搬送人員調	89
18	熱中症年齢別発生場所別搬送人員調	89
19	家庭内や身近な生活で発生したケガ等の年齢別原因別搬送人員調	90

【救 助】

救助活動の概要

1	救助出動状況調	91
	(1) 救助出動件数	91
	(2) 地区別救助出動件数	91
	(3) 消防相互応援件数(救助)	92
	(4) 救助出動の推移	92
	(5) 主な人命救助活動	93
2	救助技術の強化	93
3	救助関係主要機械器具等一覧表	94

【消防団と古式消防保存会】

消防団

1	厚木市消防団のあゆみ	95
2	消防団事務	100
	(1) 公務災害補償	100
	(2) 退職消防団員に対する報償	100
	(3) 表彰	100
	(4) 消防団員教養訓練等	100
3	福利厚生	101
4	消防操法	101
5	消防団組織と現勢	102

6	消防団施設配置図	103
7	産業別消防団員調	104
8	消防団員退職状況	104
9	退職報償金年度別及び階級別支払状況	105
10	階級別年齢調	105
11	階級別勤務年数調	106
12	消防団員年度別公務災害発生状況	106
13	消防団員年額報酬	107
14	消防団員出動報酬	107
15	消防団出動状況	107
16	消防団施設一覧表	108
17	消防団車両保有状況	111
18	水防・資材倉庫施設一覧表	113

厚木鳶職組合 古式消防保存会

1	古式消防保存会のあゆみ	114
2	組織図	114

一目統計

面積	厚木市 93.84 km ² 清川村 71.24 km ² (令和6年4月1日現在)	人口	厚木市 223,586人 清川村 2,736人 住民基本台帳人口 (令和6年4月1日現在)	世帯数	厚木市 110,831世帯 清川村 1,262世帯 住民基本台帳人口 (令和6年4月1日現在)	消防予算	3,416,282 千円 一般会計構成比率 3.3 % (令和6年度)
----	--	----	--	-----	--	------	--

職員数	定員 266 人 実員 264 人 (令和6年4月1日現在)	署所数	1 本部 2 消防署 7 分署 (令和6年4月1日現在)	消防団員数	定員 579 人 実員 499 人 (令和6年4月1日現在)	消防団組織・車両	8 分団 52 個部 小型動力ポンプ付 積載車 52台 その他の車両 1台 (令和6年4月1日現在)
-----	--------------------------------------	-----	---------------------------------------	-------	--------------------------------------	----------	---

消防署車両	消防ポンプ車 10 台 はしご車 2 台 化学車 2 台 指令車 3 台 拠点機能形成車 1 台 (令和6年4月1日現在)	水槽付ポンプ車 2 台 救助工作車 2 台 水難救助車 1 台 高規格救急車 11 台 その他 37 台 合 計 71 台	水利	消火栓 2,382 基 防火水槽 1,963 基 その他 52 基 (令和6年4月1日現在)	一一九番受信件数	18,965 件 1日当り 約52件受信 (令和5年中)
-------	--	--	----	---	----------	---------------------------------------

火災件数	59 件 約6日に1件発生 (令和5年中)	主な出火原因	・ 放火 12 件 ・ こんろ 5 件 ・ たばこ 5 件 ・ 電灯・電話等の配線 5 件 (令和5年中)	救急件数	13,709 件 ・ 1日当り約38件 ・ 38.3分に1回出動 (令和5年中)	主な救急種別	1 急 病 9,173 件 2 一般負傷 1,953 件 3 交通事故 936 件 (令和5年中)
------	-----------------------------	--------	---	------	---	--------	--

防火対象物	消防用設備等 設置届出数 776 件 防火管理者選任 対象物数 1,869 件 (清川村含む) (令和6年3月31日現在)	危険物施設	製造所 2 件 貯蔵所 269 件 取扱所 163 件 (令和6年3月31日現在)	定期点検報告制度 防火対象物	防火優良認定証 交付対象物数 38 件 (令和6年3月31日現在)	普通 実施救命講習	7,237 人 普及員 62 人 上級 34 人 普通 3,670 人 一般 3,471 人 (令和5年度)
-------	--	-------	--	-------------------	---	--------------	---

消防長あいさつ



厚木市消防本部は、厚木市、清川村を管轄し、1本部、2消防署、7分署、職員264名体制で、消防、救助及び救急活動等に当たっております。

私は、今年度、消防人生40年の集大成として、社会構造の変化等に伴う救急需要対策を始め、複雑多様化、大規模化する様々な災害に迅速、的確に対応すべく、チーム厚木消防として、一人ひとりが消防職員としての誇りをもった、より強固な組織を構築する所存でございます。

ふるさと厚木の命と暮らしを守り抜くため、市民の皆様の信頼と期待にお応えできるよう、職員一丸となり職務に精励し、最善を尽くす所存でありますので、より一層のご支援とご協力をお願いいたします。

消防長 岡田 政弘

歴代	氏名	就任
初 代	石川 正治	昭和38年4月
第2代	小林 文雄	昭和41年4月
第3代	高崎 正男	昭和48年10月
第4代	柳谷 由雄	昭和54年4月
第5代	原川 久雄	昭和56年4月
第6代	飯塚 和生	昭和56年7月
第7代	村上 勝	昭和58年4月
第8代	高橋 卯平	昭和61年7月
第9代	村上 勝	昭和62年7月
第10代	北条 昌彦	平成2年4月
第11代	三橋 知光	平成3年5月
第12代	伊藤 悟	平成3年5月
第13代	齋藤 健一	平成4年4月
第14代	藤井 信義	平成5年4月
第15代	霜島 榮	平成9年4月

歴代	氏名	就任
第16代	落合 次郎	平成10年4月
第17代	土屋 茂	平成12年4月
第18代	山口 正男	平成12年10月
第19代	小島 一郎	平成14年4月
第20代	平本 菊一	平成16年4月
第21代	鈴木 太平	平成17年4月
第22代	柏木 孝之	平成19年4月
第23代	小瀬村恒男	平成20年4月
第24代	落合 俊雄	平成22年4月
第25代	飯島 悟	平成23年4月
第26代	朝倉 國夫	平成26年4月
第27代	山田 茂穂	平成27年4月
第28代	鈴木佐重喜	平成28年4月
第29代	太田 寛	令和2年4月
第30代	岡田 政弘	令和5年4月

消防団長あいさつ



厚木市消防団は、昭和 30 年 2 月、5 町村（厚木町、睦合村、小鮎村、玉川村、南毛利村）の合併による「厚木市」とともに発足しました。現在、8 個分団 52 個部、499 名で活動しております。

私たち消防団は、日々の火災予防や災害時の消防活動を通じて、地域の安心・安全を守るため日々訓練を重ねております。特に、能登半島地震などの大規模な災害が起きた際には、地域の皆さんとの連携が非常に重要となります。災害に備え、日々の防災意識を高めることが私たちの使命です。今後につきましても、地域を守る消防団として、団員一丸となって市民の皆様の負託に応えてまいりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いします。

消防団長 川田 啓一郎

歴代	氏名	就任
初 代	木下 信勝	昭和 30 年 2 月
第 2 代	新戸 裕治	昭和 31 年 8 月
第 3 代	山本総三郎	昭和 33 年 2 月
第 4 代	向島 孝秋	昭和 33 年 4 月
第 5 代	吉村 博	昭和 51 年 4 月
第 6 代	小泉 阿栗	昭和 57 年 4 月
第 7 代	小瀬村初男	昭和 59 年 4 月
第 8 代	和田 美正	昭和 63 年 4 月

歴代	氏名	就任
第 9 代	関野 靖穂	平成 3 年 8 月
第 10 代	萩原 隆行	平成 6 年 4 月
第 11 代	森久保純生	平成 14 年 4 月
第 12 代	森屋 昭一	平成 18 年 4 月
第 13 代	堀池 春夫	平成 22 年 4 月
第 14 代	井上 衛	平成 26 年 4 月
第 15 代	望月玉三朗	平成 30 年 4 月
第 16 代	川田啓一郎	令和 4 年 4 月